

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 10 号 (通巻 No.152)

2003 年 7 月 23 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

北西太平洋サンマ北上期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場試験調査船)で行った**サンマ**北上期調査の結果をお知らせします。今回の調査は、秋期に北方四島方面から北海道周辺へと南下してくる**サンマ**の分布状況を把握することを目的に実施しました。

調査期間 : 2003 年 7 月 8 日 ~ 20 日

調査海域と調査点 (図 1) : 北西太平洋 (40° 30'N ~ 46° 30'N, 149° 30'E ~ 162° 30'E) の 17 調査点 (漁獲調査は 8 点)

調査方法 : 9 種類の目合 (22,25,29,37,48,55,63,72,82mm) の流し網を用いた漁獲試験

漁獲尾数 (図 1, 表 1) ... 漁獲尾数・CPUE とともに昨年を上回る

流し網調査を行った全調査点で**サンマ**が漁獲され、特に ST.7,9 で多く漁獲されました。

流し網による総漁獲尾数は **3,584 尾** で、昨年 (**229 尾**) を大幅に上回りました。

CPUE* (流し網 1 反あたりの漁獲尾数) は **35.0 尾** で、昨年 (**1.9 尾**) を大幅に上回りました。

*目合 29,37,48mm の漁獲尾数で計算。1 反は 30 間切りで換算。

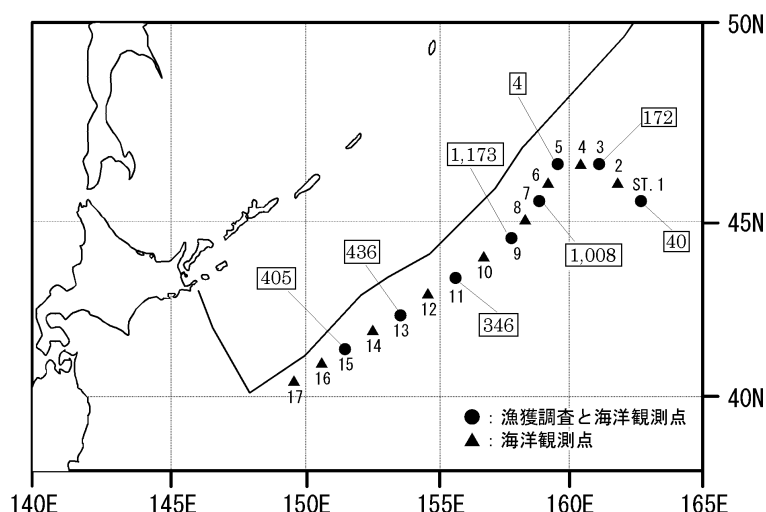


図 1 調査点図と漁獲尾数 (四角枠内)

体長組成 (図 2) ... 調査全体では大型魚が主体

調査全体では、大型魚が漁獲物の大半を占め、中型魚はほとんど漁獲されませんでした。この体長組成を昨年と比較すると、今年は中型魚の割合が若干低いものの、大きな違いは見られませんでした。

調査点別にみると、ST.9 以東の調査点および ST.15 では大型魚が主体に漁獲されました。ST.11,13 では大型魚の他に小型魚やジャミも漁獲され、特に ST.13 では小型魚・ジャミの割合が全体の約 8 割を占めました。

表面水温と体長組成の関係を見ると、水温の低い (**14 以下**) 調査点では大型魚主体に漁獲され、水温が高くなるに従い小型魚・ジャミの割合が多くなる傾向が見られました。

来る 8 月 5 ~ 6 日に塩釜市で平成 15 年度北西太平洋サンマ長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁海況予報が発表される予定です。

(文責 : 釧路水産試験場 資源管理部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)

表1 サンマ北上期調査結果

S T 調査日	水温 ()			サンマ漁獲尾数							
	0m	50m	100m	目合22mm	25mm	29mm	37mm	48mm	55mm	合計	
1	7.12	8.7	3.8	3.5	0	0	5	33	2	0	40
2	7.12	9.5	3.6	4.5	-	-	-	-	-	-	-
3	7.13	10.2	4.6	3.6	0	0	3	147	22	0	172
4	7.13	9.6	2.9	1.5	-	-	-	-	-	-	-
5	7.14	9.1	2.4	1.6	0	0	0	4	0	0	4
6	7.14	10.2	2.3	1.3	-	-	-	-	-	-	-
7	7.15	10.1	1.9	1.3	1	0	3	821	182	1	1008
8	7.15	10.6	2.6	1.3	-	-	-	-	-	-	-
9	7.16	12.8	4.8	3.1	3	9	173	808	176	4	1173
10	7.16	11.4	4.1	3.4	-	-	-	-	-	-	-
11	7.17	14.2	6.9	3.8	11	5	158	103	69	0	346
12	7.17	15.4	8.2	7.1	-	-	-	-	-	-	-
13	7.18	15.1	6.9	5.0	132	49	167	73	15	0	436
14	7.18	15.3	5.6	3.6	-	-	-	-	-	-	-
15	7.19	13.8	3.3	3.8	2	4	56	313	30	0	405
16	7.19	14.7	4.1	2.2	-	-	-	-	-	-	-
17	7.19	16.0	10.6	8.8	-	-	-	-	-	-	-
合計					149	67	565	2302	496	5	3584

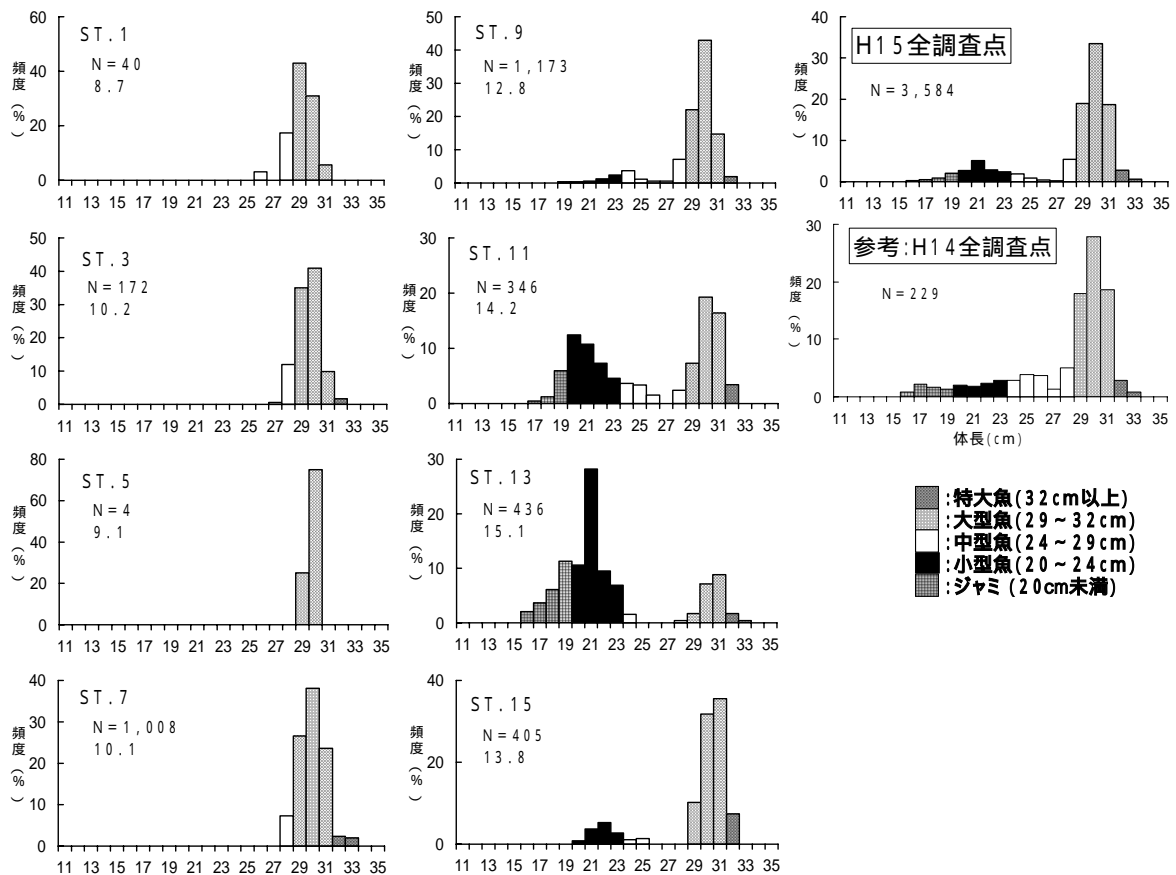


図2 サンマ北上期調査の調査点別体長組成 (Nは漁獲尾数, 下段は表面水温)